

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	文化芸術係
■評価事業名称	利根山光人記念美術館企画事業			
■事業開始年度	平成8年度			
■評価事業コード	090200 - 112	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■目標	01 ひと『未来に輝く、未来を創る人づくり』		
	■基本方針	03 すべての人が活躍できる環境づくり		
	■基本施策	02 文化芸術及びスポーツを核とした地域活性化		
	■プロジェクト	03 地域をつくる文化芸術・スポーツプロジェクト		
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策	
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称	北上市教育振興基本計画(後期計画) (平成28年度～平成32年度)			
■事業の目的と概要	利根山光人記念美術館が北上市民に身近な存在となり入場者が増加する。企画展や出前美術館、親子秋まつりを開催することで利根山光人記念美術館への関心の高揚を促すとともに、芸術文化の振興を図る。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和3年度事業計画	令和3年度事業量実績
01	利根山光人記念美術館企画事業	一般	企画展3回、こどもアートスクール1回、親子秋まつり1回、絵画教室年10回、記念式典	入館者数930人、こどもアートスクール参加者数21人、絵画教室参加者数11人、記念式典39人、特別企画「つながる太陽プロジェクト」完成共同作品展展示会作品制作参加者数95人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	備考
直接事業費	214	227	335	4,055	
人件費	1,717	2,612	3,227	8,858	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	1,931	2,839	3,562	12,913	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	30年度	31年度	2年度	3年度	指標の説明
01	チラシ作成枚数(PR活動)	2500部×3回	2500部×3回	2500部×3回	2500部×3回	企画展のPRとともに、記念美術館の周知を図る。
02	企画展開催回数	3回	3回	3回	3回	企画展開催回数

事務事業事後評価シート[令和3年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

絵画教室、企画展、移動美術館、記念事業を開催することで、文化芸術への関心を高めることができた。

問題点・課題等

多くの人に美術作品にふれる機会を創出するため、魅力ある美術館の在り方の検討が必要。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

絵画教室や企画展等を開催することで、市民に文化芸術にふれる機会を提供している。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了

事務事業事後評価シート[令和3年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	まちづくり部生涯学習文化課		■担当係	文化芸術係
■評価事業名称	北上市民俗芸能推進事業			
■事業開始年度	令和2年1月			
■評価事業コード	090200 - 140	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■目標	01 ひと『未来に輝く、未来を創る人づくり』		
	■基本方針	03 すべての人が活躍できる環境づくり		
	■基本施策	02 文化芸術及びスポーツを核とした地域活性化		
	■プロジェクト	03 地域をつくる文化芸術・スポーツプロジェクト		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	「保存伝承」及び「活用」による民俗芸能を生かしたまちづくりを推進するために、R1年6月に発足した北上市民俗芸能協会に安定的及び継続的な民俗芸能の推進を担ってもらうために業務委託をするもの。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和3年度事業計画	令和3年度事業量実績
01	北上市民俗芸能推進事業		業務委託6,262千円	業務委託6,262千円

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	備考
直接事業費		1,292	6,277	6,277	
人件費		381	894	836	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト		1,673	7,171	7,113	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	30年度	31年度	2年度	3年度	指標の説明
01	登録芸能団体数		64団体	64団体	64団体	民俗芸能協会登録芸能団体数

事務事業事後評価シート[令和3年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5-6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

公演事業や後継者育成セミナー等を行い、民俗芸能を生かしたまちづくりを推進している。

問題点・課題等

民俗芸能の保存・伝承や後継者育成について、継続的な取組が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

民俗芸能の保存・伝承や後継者育成について、継続的な取組が必要

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了